

番組終了に寄せて。

番組終了に寄せて、個人的なコメントです。ちなみにこの内容は、番組宛に送ったメールの内容を大幅に加筆したものです。

「番組終了」と言われても、どうリアクションしていいのかわからないのがホンネです。いろいろ思い出すことも多いし、それ以上に自分自身がかなり変わってしまっていることに驚いています。4年半前の自分とは比較にならないくらいです。そんな時期をドキホと過ごせたことは大変にうれしいです。ドキホにとっても、この4年半という時間は長くて短い時間のような気がします。もちろん、4年半という放送期間は今のラジオ番組の置かれている状況からいえば、立派な「長寿番組」となるのですが、5年は目指して欲しかったなあ…というのが正直なところだったりします。

ホントのところ、最初は正直なところ先が見えない中途半端な番組のような感じが強かったです。それでも、みずほさんの番組に真剣に向き合う姿勢を見て、少しずつ印象が変わってきました。初期の頃は、ホントに寒いコーナーが多かったです（笑）。それでも「センパイ、カノジョ欲しいっすねえ」のコーナーが生まれたり、少しずつ、ドキホらしさが確立されてきました。そんな中、初めての改編を突破したドキホをさらに盛り上げようと、当時小森まなみさんの番組のリスナーが発行していたリスナー誌を参考に「ドキチャ」が生まれました。

今改めて、ドキホの存在を見直すと、「成長させてくれた場所」だと思います。みずほさんにとってもリスナーにとっても。もちろん自分にとっても…それはもしかすると、思い当たる人もたくさんいるはずですが。ハガキや手紙で考えさせられたことや、ミーティングやイベントで実際に今までラジオや手紙で知ることしかできなかった人たちと会ったこと。4年半の間に起きたすべての物事が成長の糧になってくれたように感じます。みずほさんも、この4年半ですいぶんと成長したと思います。あまり人のことを言える立場では無いのですが、本当に一人前のパーソナリティとして成長したと思います。ドキホという番組自体も、確実に成長したからこそリスナーミーティングやイベントに参加することができたように思います。きっとそれは、ドキホを支えた一人一人の力だと思います。正直なところ、この4年間で反省したり後悔したこともたくさんあったかもしれませんが、それも、きっと大きな力となって今後の成長に役立ってくれるはずですが。

僕自身、振り返ってみると、ドキホに出会わなければ、仙台に何度も足を運ぶこともなかったし、「ドキチャ」を発行することも無かったと思います。このことが自分に与える影響はすごく大きいことを改めて実感しています。ドキホとの出会いがなければ、このような経験をすることが無かったことをひしひしと感じています。

みずほさん、ディレクターさんを含めたスタッフの皆さん、そして、ドキホリスナーすべてに、本当にありがとうございました。特にディレクターさんをはじめとしたスタッフの皆さんは、予算や時間の制約の中、リスナーミーティングやイベントでの番組ブースの設置、そしてドキチャの発送作業など、大変お世話になりました。98年8月にはスタジオにお邪魔させてもらったりと、ご迷惑ばかりお掛けしてしまいました。さまざまな形でリスナー同士や番組との交流の場を設けてくださったことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

ご愛読ありがとうございました。

1997年4月から発行してきました「ドキチャ」ですが、番組の終了に伴って今号限りで発行を終了させていただきます。大学に入学して以来、生活ががらっと変わってしまい、去年は2号しか発行できないなど、かなりやり残したことも正直なところ多いのですが、番組終了ということで一区切りつけさせていただきます。

4年間という長い間、リスナー発行のフリーペーパーを発行できたことは良い経験となりました。ご愛読してくださったみなさん、そしてみずほさん、スタッフの皆さんに深く感謝します。最後に、4年間という長い間、本当にありがとうございました。今後はホームページ <http://sjam.pekori.to/dokicha/> でドキチャのバックナンバーやみずほさんの活躍っぷりなど、ドキホにまつわる情報を今後も発信していきます。

バックナンバーについて

バックナンバーは4月以降もご用意しています。Vol.1～Vol.18までの全ての号を揃えています。Vol.1～6までは、原稿が古くなっているので読みづらい点があります。

送料は1～3部まで90円、4～7部まで160円、7～10部までは190円、11部以上は240円分の切手を用意してください。号によって重さが変動するので、額面は余裕を持って設定しています。送料より切手の額面が多かった場合は切手でお返しします。

編集後記

4年という年月は長いようでホントに短いように改めて感じます。このドキチャは最終回の放送を聴いた後に編集しましたが、最終回もドキホらしい放送で終わったと思います。100通近いお便りがもらえるくらい、ドキホが発展したことも改めてすごいように感じます。

でも、どんどんハガキ中心のラジオ番組が失われていくのは悲しいですね…このドキチャを書き終えて、いわゆる「ハガキ職人」からの引退したいと思います。今まで本当にありがとうございました。